

(令和6年度補正分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 埼玉県川越市
本事業の担当部署名 こども未来部こども育成課

事業メニュー		ライフデザイン・結婚支援重点推進事業						
区分		重点メニュー						
関連事業メニュー		1.2.2 若い世代の描くライフデザイン支援						
個別事業名		子育て体験学習事業				新規／継続 (一般財源での実施も含む)	継続	
実施期間		令和7年4月1日		～	令和8年3月31日		事業開始年度	令和6年度
総事業費(A)(円)		2,000,000		寄付金その他の収入予定額(B)(円)		0	差引額(A-B)(円)	2,000,000
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額		2,000,000						
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費	
	総事業費	0	0	0	0	0	0	
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	区分	委託料	使用料及び賃借料	備品購入費	負担金	補助金	計	
	総事業費	2,000,000	0	0	0	0	2,000,000	
	対象経費支出予定額	2,000,000	0	0	0	0	2,000,000	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け		<自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通 第四次川越市総合計画に基づき、結婚に対する取組支援、妊娠期からの切れ目ない支援、多子世帯への支援、若者や子育て世代へのしごと支援などを中心に、妊娠期からの様々な悩みや不安を解消するための支援体制の整備や、地方創生の取組を進めるなど、安心して出産や子育てができる環境づくりに取り組んでいる。 <本個別事業の位置付け> 令和2年を始期とする第2期川越市子ども・子育て支援事業計画において、5つの基本目標のうち「地域と社会で子育てを支える環境づくり」の施策目標の一つとして「少子化対策の推進と次代の親の育成」を掲げており、当該施策の一つとして実施するものである。 また、川越市まち・ひと・しごと創生総合戦略における4つの基本目標のうち「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」の個別事業としても位置付けて実施していく。						
個別事業の内容	番号	項目	内容					
	1	子育て体験学習事業	市内中学校(22校のうち希望校)を対象に乳児及びその保護者との交流、妊婦疑似体験、誕生学講座を実施し、自己肯定感を高め、自己と他者を大切に思う心を養うとともに、自分が生まれてきたことに喜びを感じてもらい、母性・父性の育成を支援する。あわせて、事業内容をHPで市民に広く広報・周知することにより、結婚・子育てに温かい社会づくり・機運の醸成を図る。 加えて、誕生学講座の中でプレコンセプションケアにも触れ、参加者へ関連冊子を配布するほか、市内で開催されるユースクリニックを案内するなど関連事業との連携を図り、若者のライフデザイン形成を支援する。					
	2							
	3							
<過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)> ・本事業については、関連分野の事業が官民間問わず市内で実施されているものの、それらの事業との連携は行っていない。 ・関連事業との連携を図ることにより、より効率的かつ効果的に事業を実施する必要がある。 ・具体的には、これまでの事業内容に加え、事業参加者に対しプレコンセプションケアに関する講座、関係資料(冊子)の配布を行うとともに、市内で開催されるユースクリニックの案内を行うことで、ライフデザイン形成支援の側面での深化を図る。								

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	出生数		人／年	2,500 (R7)	2,091 (R5)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.10 (R4)	
	婚姻件数		件	1,343 (R4)	
	婚姻率			-	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	①	実施校数	校	22	21 (R6年度)
	②				
	③				
	④				
	⑤				
		(アウトカム)			
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	-	-
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	-	-
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	50 (R7年度)	-
	④	事業実施後「いつか親になってみたい」と考える生徒の割合	%	90 (R7年度)	-
	⑤				
	⑥				
	⑦				
	⑧				